

# 不正調査・監査と 戦略的 ERM(不祥事防止対策)

—不正手口と兆候の見抜き方、全社リスクマネジメントからのアプローチ—

- 日 時 ● 2018年6月26日(火) 10:00~17:00 <12:00-13:00 昼食・休憩>
- 会 場 ● 東京・麹町 企業研究会『セミナールーム』
- 講 師 ● 吉田 邦雄氏 株式会社ポーラ・オルビス ホールディングス 内部監査室部長  
日本内部監査協会講師、CFE(米国公認不正検査士)

## ●プログラム●

### 【ご経歴】

中央大学法学部卒業、富士ゼロックス(株)入社。法務/コンプライアンス、経理、企画、資材畑を歩み生産企画部長、1995年経営監査部マネジャー(部長)、この期間、長野ゼロックス(株)監査役などを兼任、2007年4月より移籍、(株)ポーラ・オルビス HD 内部監査室部長。法務/コンプライアンス、ガバナンス、リスクマネジメント、経営監査、不正調査、海外子会社監査、東証上場審査対応、J-SOX実務対応、持株会社監査、事業計画監査、海外M&A買収後監査、ITガバナンス監査、監査の品質評価プログラム、BCP対応、CSR/CSV監査研究等20年以上実務専門家として監査/不正調査現場の第一線に従事。

日本内部監査協会「2003~2017年度実務演習」「監査役監査研究会2005年2月・3月例会」各講師及び「2006~2017年度内部監査士認定講習会」講師、そして経営倫理実践研究センター(BERC)上席研究員、企業研究会「これからの経営監査を考える会」運営幹事。また、神戸大学大学院(経営学研究科)等大学大学院、日本公認会計士協会、日本監査役協会、民間大手企業、財務省を始めとする中と央官庁等において講演/コンサルティング/執筆活動も行っている。(株)経営監査研究所取締役社長。

【論文・著書】2004年『富士ゼロックスの倫理・コンプライアンス監査』東洋経済新報社発行、2006年『経営監査機能強化とグループ会社監査体制の確立』企業研究会研究叢書No.133分担執筆、2006年『月刊監査役8月号』及び『日経情報ストラテジー9月号』“日本版SOX法対応に関する緊急提言”共同執筆、2012年BERC編『実践!コンプライアンス上級編』への協力執筆PHPエディターズグループ発行、2015年『月刊監査研究8月号』“経営監査の高付加価値化”<CSVと経営監査>発表、2017年『月刊監査研究4月号』“経営監査から見た不正防止への考察”、2017年『月刊監査役7月号』監査役全国会議パネルディスカッション登壇“内部監査部門との連携強化”他。

### 【開催に当たり — 吉田講師からのメッセージ】

我が国におけるリーディングカンパニーの企業不祥事がなくなりません。これ迄の社内強化策が何故実を結ばないのでしょか? 本セミナーはここにメスを入れ不正調査・監査と戦略的ERM(不祥事防止対策)をご紹介します。

「不正は隠される為不正事実の発見は極めて困難」と言われてきました。これ迄の企業不祥事研究、コンプライアンス体制、内部監査では限界ありとも言われています。“不正の早期発見/早期対応”を実行ならしめ、経営陣が期待する企業の「自浄機能強化」に繋げる為にも、これからのコンプライアンスや監査に携わる方々は“企業実務家”としての高度な感受性と深い分析力等専門能力が求められております。

一つの不正の兆候からは複数の不正手口の可能性が示唆されますが、他方、不正手口からは何らかの不正の代表的な兆候が現れていますので、これを見逃さず、専門的な検証を試みる必要があります。他方、新 COSO ERM に代表されるような経営戦略とERMの融合、すなわち、企業不祥事防止の為には、ERM的視点からの新しい“機能別戦略”の策定・展開も最重要課題でありますので、合わせて取り上げていきたいと考えます。

この機会に内部監査部門、コンプライアンス部門他の方々のご積極的ご参加をお勧め致します。

## ●参加要領●

### ●受講料：1名(資料・昼食費含む)

正会員	43,200円	一般	46,440円
-----	---------	----	---------

[本体価格 40,000円 本体価格 43,000円]

\*会員企業一覧は以下の当会のホームページにて、ご確認ください。<http://www.bri.or.jp>

申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者へ FAX または E-mailにてお送りください。

折り返し、受講票・会場略図・請求書をお送り致します。

※お申込後のキャンセルは原則としてお受けしかねますので、お申込者が出席頂けない際は、代理の方のご出席をお願い申し上げます。

### ●申込先

一般社団法人 企業研究会 経営管理研究グループ

担当)居代 E-mail:ishiro@bri.or.jp

〒102-0083 千代田区麹町 5-7-2

TEL 03-5215-3516/FAX 03-5215-0951~2

181589-0202	2018 6/26 不正調査・監査と戦略的 ERM		
会社名			
住所	〒		
TEL	FAX		
部課 役職	フリガナ	お名前	
e-mail			
部課 役職	フリガナ	お名前	
e-mail			

10:00

## 1. 不正調査・不正監査編

### ①はじめに

- ・不正の早期発見・早期対応、それに続く業務の改善改革、  
この PDCA サイクルを企業文化として定着

### ②業種別重大不祥事リスク

### ③発見の難易度評価

### ④不正手口と兆候の対応関係についての検証

### ⑤不正手口と兆候の早期発見事例

#### i. 会計不正

- 資産/収益過大計上、負債/費用過小計上、不適切な情報開示、
- 資産横領(個人不正)、循環取引

#### ii. コンプライアンス違反

- 過重労働、品質不正、談合・贈賄、情報漏洩

### ⑥品質不正の見抜き方事例

### ⑦上場会社における不祥事予防のプリンシプル

## 2. 全社的リスクマネジメント(ERM)編

### ①事業リスク/非事業リスクの評価手順

### ②リスク対応戦略③企業不祥事防止を狙ったこれからの ERM 戦略

これ迄の足りないものは何か? : 企業風土監査と不正防止を狙った機能別戦略

### ④新 COSO ERM と不正の抜本的対策

### ⑤次世代 GRC 構築の具体例

### ⑥「不正リスク管理プログラム」の具体例\* 内容は若干変更する場合があります、予めご承知お願いします。

## 3. 意見交換及び質疑応答

講義をベースに質疑応答および自由な意見交換の場を設けます

### 【参考資料】

- ◆不正の分類
- ◆不正調査と内部監査の違い
- ◆IIA 国際基準上の「不正調査」の位置付け
- ◆不正調査プロセス
- ◆経営の期待に応える真のプロの条件

※本セミナーは講演範囲が広いため、時間の制約上、やむなく

重要ポイント重視にてご紹介予定。但し、Q&A の時間は適宜設けます。

12:00  
昼食  
休憩  
13:00

17:00